

NY マーケットレポート (2017年1月17日)

注目された英国のメイ首相の演説では、最終的な離脱案を議会採決にかけの方針を示したことや、EU 離脱の交渉方針や目標を明らかにしたこと、交渉を巡る不透明感が後退したとの見方など広がり、ポンドを中心にドル円・クロス円が大きく反発となった。

ただ、NY 市場では、直前の堅調な流れが一服となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。そして、欧米の株価下落や、米債券利回りの低下などを背景に、軟調な動きとなった。

また、トランプ氏がドルは強すぎると発言した米紙インタビューも圧迫要因となり、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。

一方、ポンドは主要通貨に対して堅調な動きとなり、ポンド/円は週明けに明けた大きなギャップを埋め、高値圏でのみ合いの展開が続いた。

2017年1月17日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.29	114.28	113.25
EUR/JPY	120.71	121.20	120.66
GBP/JPY	137.32	137.73	137.12
AUD/JPY	85.31	85.49	85.11
EUR/USD	1.0655	1.0666	1.0598

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.58	112.73
EUR/JPY	121.40	120.54
GBP/JPY	140.07	137.07
AUD/JPY	85.59	85.14
EUR/USD	1.0720	1.0654

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.68	113.57	112.63
EUR/JPY	120.66	121.30	120.58
GBP/JPY	139.81	140.14	139.37
AUD/JPY	85.27	85.57	85.01
NZD/JPY	81.24	81.49	81.04
EUR/USD	1.0710	1.0717	1.0668
AUD/USD	0.7568	0.7568	0.7530

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19826.77	-58.96
S&P500	2267.89	-6.75
NASDAQ	5538.73	-35.39
日経225 (CME)	18720	-580
トロント総合	15441.36	-37.93
ボルサ指数	46002.56	+262.18
ボベスパ指数	64354.34	+523.06

1/18 経済指標スケジュール

08:30	【オーストラリア】1月ウエストバック消費者信頼感指数
11:00	【ニュージーランド】12月非居住者国債保有率
16:00	【ドイツ】12月消費者物価指数
17:00	【南アフリカ】12月消費者物価指数
18:30	【英国】12月失業率
18:30	【英国】12月失業者数推移
18:30	【英国】11月ILO失業率[四半期]
19:00	【欧州】11月建設支出
19:00	【欧州】12月消費者物価指数
20:00	【南アフリカ】11月実質小売売上高
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】12月雇用
22:00	【ポーランド】12月平均総賃金
22:30	【米国】12月消費者物価指数
23:15	【米国】12月鉱工業生産
23:15	【米国】12月設備稼働率
00:00	【米国】1月NAHB住宅市場指数
00:00	【カナダ】政策金利発表
04:00	【米国】12月米地区連銀経済報告[ページブック]
06:00	【米国】11月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1212.90	+16.70
NY 原油	52.48	+0.11
CME コーン	365.70	+7.00
CBOT 大豆	1069.25	+23.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.148%	1.193%
3年債	1.412%	1.477%
5年債	1.818%	1.897%
7年債	2.126%	2.204%
10年債	2.324%	2.396%
30年債	2.928%	2.989%

ドイツ10年債	0.321%	0.323%
英国10年債	1.309%	1.312%

1/18 主要会議・講演・その他予定

- ・ ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・ イエレンFRB議長 講演

NY 市場レポート

〈企業決算〉

モルガン・スタンレー

第 4 四半期の 1 株利益は 0.81 ドル (予想 0.65 ドル)

21 : 00

〈 要人発言 〉

メイ英首相

- ・「EU が不安定になることは望んでいない」
- ・「EU から距離を置こうとはしていない」
- ・「英国は EU と信頼できるパートナーであることを続ける」
- ・「EU の部分的な加盟にとどまるべきではない」
- ・「EU 離脱最終案は議会で採決にかける」
- ・「欧州からの移民を管理する」
- ・「EU 出身者の住民の権利保証を最優先にしたい」
- ・「EU 単一市場の加盟は提案していない」
- ・「EU と包括的な自由貿易協定を目指す」
- ・「関税協定の準加盟国である必要がある」
- ・「EU 関税同盟と新たな協定結びたい」
- ・「離脱後の移行期間設定を模索する」

〈欧州のポイント〉

メイ英首相による英国の EU 離脱の政府方針に関する演説は、ロンドンの英外務省公館「ランカスター・ハウス」で、各国大使らを招いて行われた。メイ氏は、「6 ヶ月あまり前、英国民は変化を求めて投票した」と述べた。「EU への部分的な残留を求めない。新しく対等なパートナーシップを追求する」との考えを示し、「半分残り、半分出るようなことはない」とし、EU からの完全離脱を明言した。また、他の国が行っているようなモデルを適用しないと述べ、英国独自の自由度の高い新たな貿易自由化を目指し、EU との離脱交渉で優先する 12 項目と四つの原則も示した。EU の関税同盟については、英国が貿易協定交渉をする際の障壁になるとして残留を求めず、新たな協定を結びたい意向を示した。EU との原則 2 年間の交渉が妥結した際には、英国の上下両院の採決にかけて合意を得る考えも初めて明らかにした。



出所 : Net Dania

ポンド米ドル, 5分足, #100



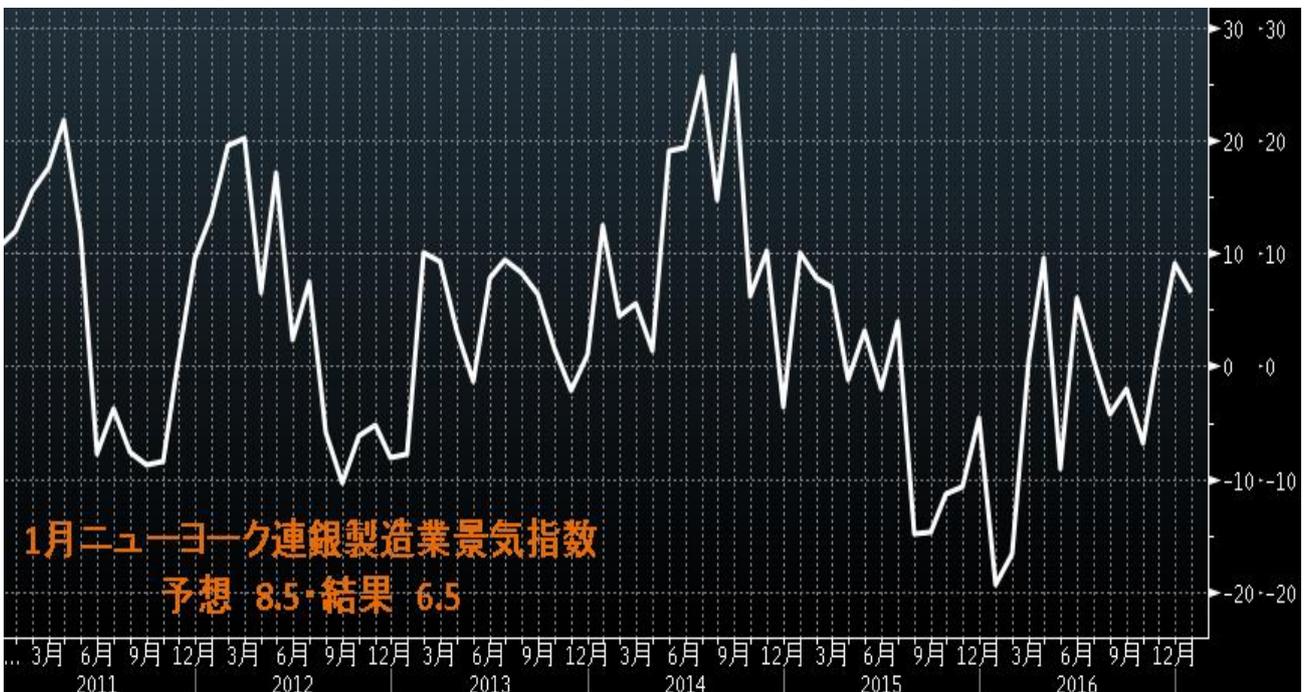
出所 : Net Dania

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月ニューヨーク連銀製造業景気指数 6.5 (予想 8.5・前回 7.6)

前回発表の9.0から7.6に修正



出所 : Bloomberg

22 : 50

◀ 要人発言 ▶

ダドリー・NY 連銀総裁

- ・「景気拡大は今後数年続くと楽観している」
- ・「当局が景気拡大を終わらせるリスクはほとんどない」
- ・「2%物価は、今後数年で実現する可能性が高いようだ」
- ・「国境税の変更はドルの価値を変える可能性もある」

0 : 10

◀ 要人発言 ▶

ブレイナードFRB 理事

- ・「財政政策で雇用のたるみが急速に縮小すれば利上げ加速も」
- ・「低インフレなら緩やかな引き締めが適切」
- ・「財政拡大はドルに上昇圧力かける可能性も」
- ・「米財政政策は金融当局の不確実性の一つ」
- ・「新興市場と中国には下振れリスク」

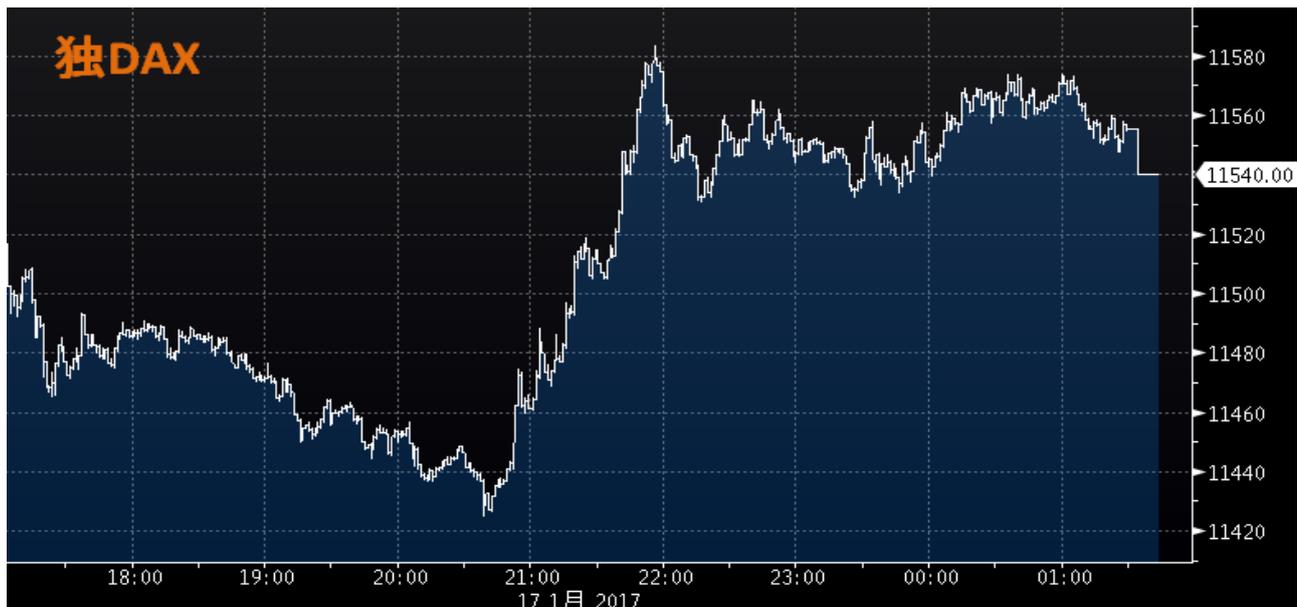
◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、トランプ次期米政権の経済政策に対する不安や、英国のEU離脱を巡る警戒感から投資家がリスク回避姿勢を強め、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。ただ、その後はダドリー・NY連銀総裁が講演で、米景気の拡大は今後も続くとの見通しを示したことなどを手掛かりに売りも出て、相場の上昇幅が縮小した。

午前の利回りは、30年債が2.94%（前週末2.99%）、10年債が2.34%（2.40%）、7年債が2.14%（2.21%）、5年債が1.84%（1.90%）、3年債が1.42%（1.48%）、2年債が1.16%（1.20%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、メイ英首相がEUからの離脱最終案を議会で採決にかけると表明したことや、売上高の大半を国外で稼ぐ英国の大企業にとって、ポンド上昇が業績を圧迫するとの懸念が広がったことが影響し、主要株価は軟調な動きとなった。

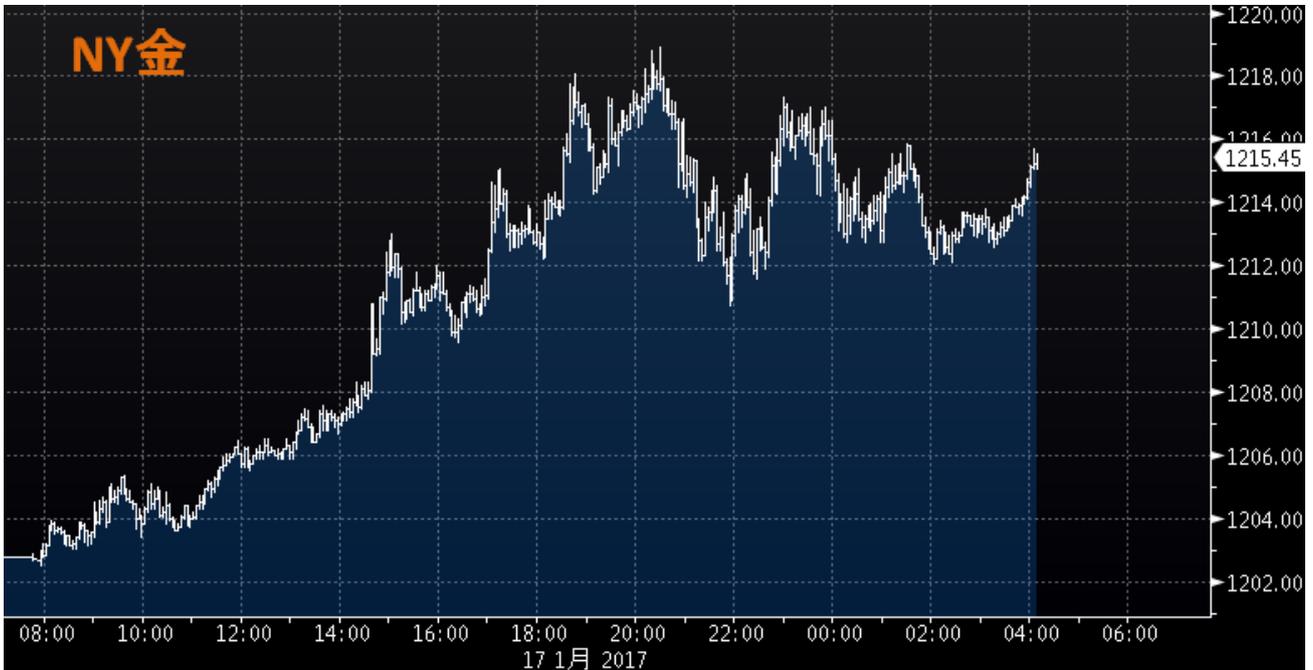


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 16.70 ドル高の 1 オンス=1212.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金の買いが先行した。英国の EU 離脱交渉への不安が広がり、比較的安全な資産としての需要も高まり、終値ベースでは、昨年 11 月 22 日以来約 2 ヶ月ぶりに 1200 ドル台を回復した。

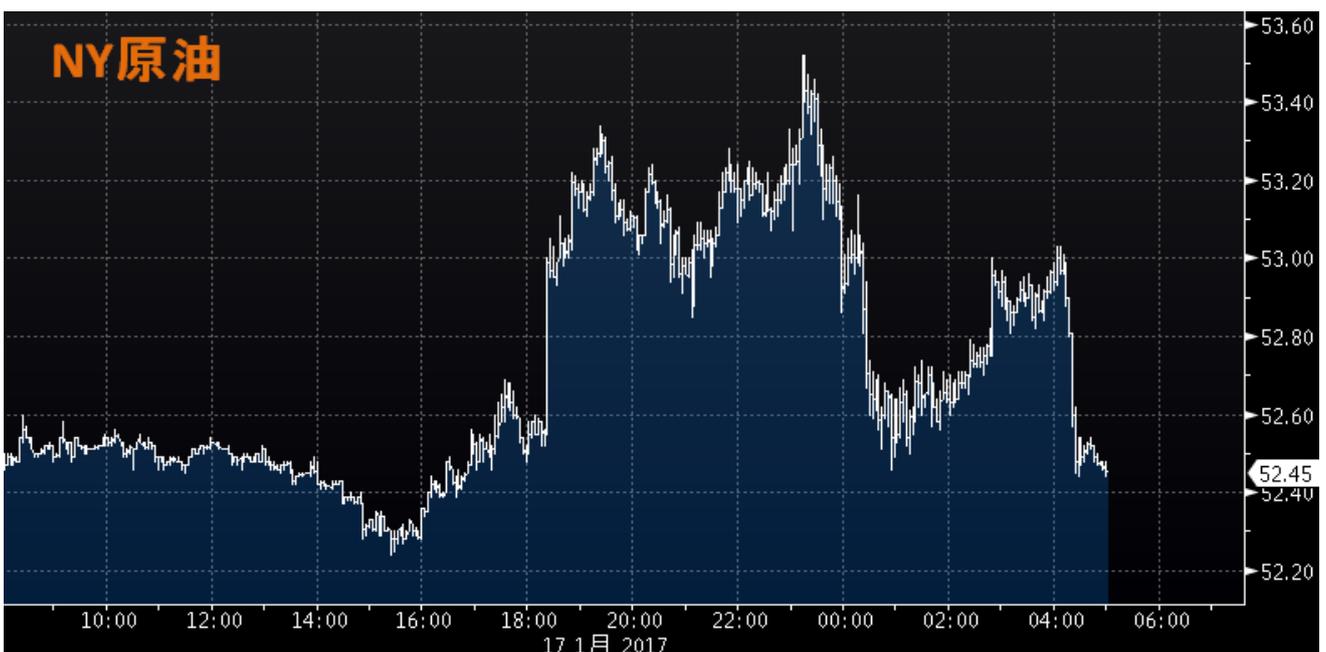


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.11 ドル高の 1 バレル=52.48 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、サウジアラビアのエネルギー産業鉱物資源相が、主要産油国による減産合意を厳しく順守すると述べたとの報道を受けて、買いが先行した。また、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感が出たことも支援材料となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、英国のEU離脱を巡るメイ英首相の演説を受け、欧州株式相場が総じて軟調に推移していることを嫌気した売りが優勢となった。ただ、下げ一巡後は、米企業決算が比較的堅調な結果となったことも好感され、下げ幅を縮小する動きとなった。ただ、終盤には再び軟調な動きとなり、下げ幅を拡大する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、メイ英首相の演説でEU離脱交渉を巡る不透明感が後退したとの見方などから大きく上昇した流れが一服し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。米株価や債券利回りが低下したこともあり、円買いの動きが続いた。ただ、ポンド/円は高値圏でもみ合いの動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。